



カガクでネガイをカナエル会社

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月12日(火)
株式会社 **力ネ力**



業績概要	01
事業概況	03
貸借対照表	08
キャッシュ・フロー計算書	09
連結業績予想などの将来予測情報	10

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

(単位: 億円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減(対前年同期比)	
			金額	%
売上高	3,701	3,960	258	7.0%
営業利益	126	191	65	51.5%
経常利益	127	144	17	13.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	89	102	13	14.2%
営業利益率	3.4%	4.8%		
1株当たり中間純利益	137.09円	160.48円		
為替・原料価格				
期中平均レート(米ドル)	141.1円	152.8円		
期中平均レート(ユーロ)	153.5円	166.1円		
国産ナフサ	65,550円	78,250円		

世界経済の状況 ー景気は停滞感が続く。先行きは不透明ー

- 景気回復に減速の懸念。地政学リスク高まり、政情不安定化

当社グループの業績 ー増収増益、第2四半期もモメンタムを維持ー

- 上期実績: 第1四半期から続く強いモメンタムを維持。HealthCare (Pharma) で一時的な出荷調整
- 下期見通: 全SUで成長モメンタム強まる。4Qには営業利益 100億円/Q超の水準へ

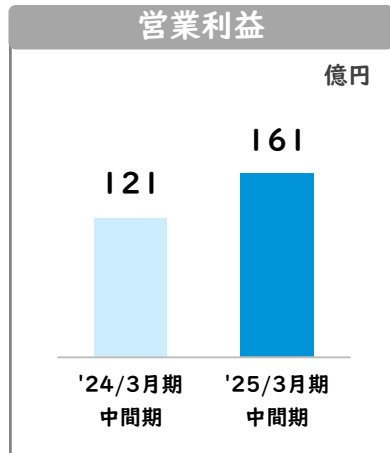
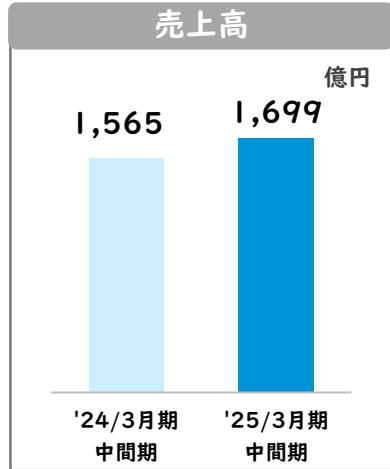
セグメント別 売上高・営業利益 中間期別

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	増減		2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	1,565	1,699	134	8.6%	121	161	39	32.6%
Quality of Life SU	848	934	87	10.2%	71	96	25	34.5%
Health Care SU	362	364	2	0.6%	59	54	△4	△7.6%
Nutrition SU	920	958	38	4.1%	46	64	19	40.9%
その他	6	4	△2	△32.0%	4	2	△2	△54.3%
調整額	-	-	-	-	△175	△186	△11	-
計	3,701	3,960	258	7.0%	126	191	65	51.5%

※SU:Solutions Unit

事業概況



(Material Solutions Unit)

**MOD・MSの強い成長モメンタムが続き、増収増益
年間では増益の見通し**

Vinyls and Chlor-Alkali

- 上期実績：塩ビのアジア市況が下振れ ⇒ 営業利益は前年並み
- 下期見通：国内塩ビ価格改定が寄与 ⇒ 4Qに業績回復見込み

Performance Polymers (MOD)

- 上期実績：前年からの競争力を維持 ⇒ 全拠点で販売増
差別化力のある非塩ビ用途・MXも販売拡大
- 下期見通：強い成長モメンタムを維持

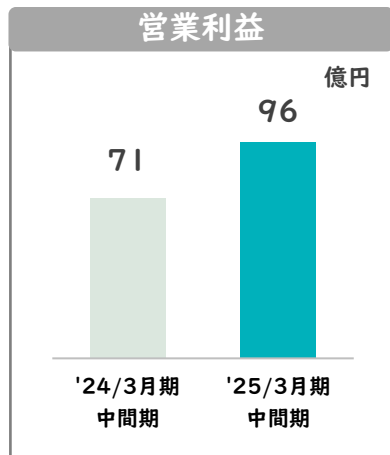
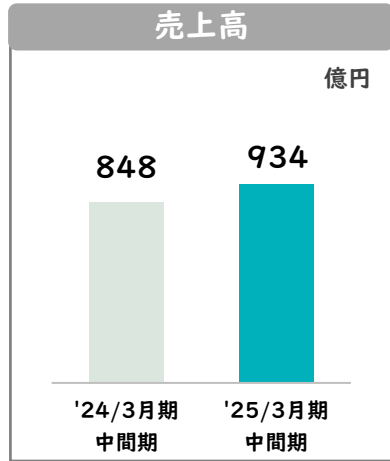
Performance Polymers (MS)

- 上期実績：ベルギー増設設備が稼働開始。業績は堅調。
- 下期見通：販売拡大・高収益のモメンタムを継続

Green Planet

- 上期実績：世界の大手ブランドホルダーでの大型案件採用の取り組みが進展
家電・自動車向け発泡緩衝材用途での採用開始。関心が一層高まる。
- 下期見通：大型案件採用の取組み、量産実証プラントの立上げに注力

事業概況



(Quality of Life Solutions Unit)

**E&Iの高収益が、全体で大幅な増収増益
下期もE&Iの強いモメンタムが続く**

Foam & Residential Techs

- 上期実績：自動車分野、農水産・建築分野が需要減。原料高の影響
- 下期見通：価格改定が進展 ⇒ 年間で前年並みの収益へ回復の見通し

E & I Technology

- 上期実績：ポリイミドフィルム・アクリル樹脂の高水準の販売 ⇒ 大幅増益
- 下期見通：スマホ・液晶TVの強い需要継続 ⇒ 高収益維持の見込み

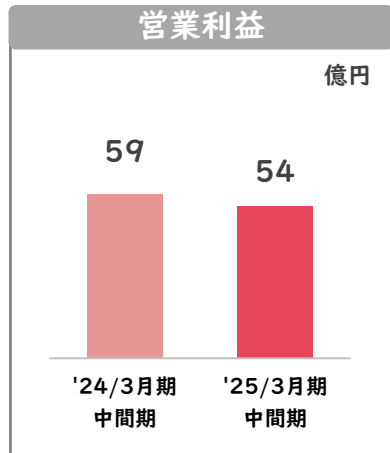
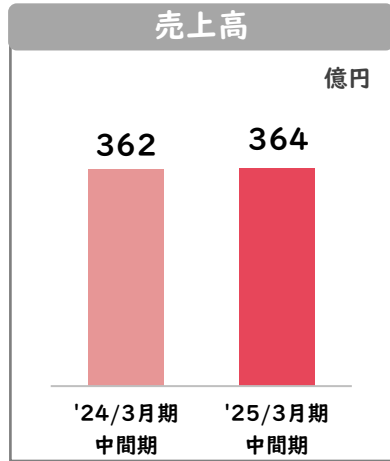
PV & Energy management

- 上期実績：住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 下期見通：ZEB用途の拡販、ペロブスカイトの研究開発強化
⇒ 高付加価値製品のラインアップ拡充を進める

Performance Fibers

- 上期実績：頭髮製品の販売が着実に回復 ⇒ 前年同期比で増益
- 下期見通：アフリカ諸国の高インフレ・通貨安等が継続も、新製品による需要創出を計画

事業概況



(Health Care Solutions Unit)

**Medicalでの新製品投入・拡販進展。Pharmaは一時的な出荷調整
年間ではユニット全体で収益拡大の見通し**

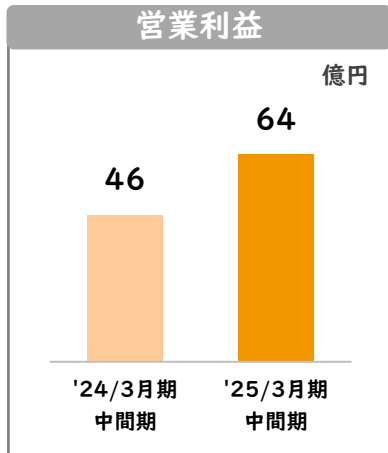
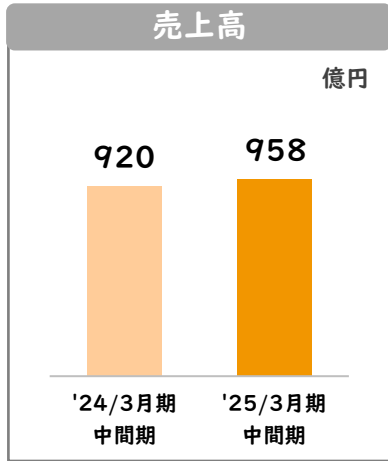
Medical

- 上期実績：血液浄化器の北海道新プラント（苫東工場）稼働開始
血液浄化器・カテーテルともに販売拡大
苫東工場でのカテーテル新プラントの建設を決定
⇒グローバルな需要拡大へ対応
- 下期見通：新製品の拡販が進む ⇒ 強い成長モメンタムが継続の見通し

Pharma

- 上期実績：一部で4Qへの出荷調整が発生、販売減
- 下期見通：3Qは需要調整の影響残るも、4Qに新規大型案件の出荷が集中
⇒ 収益回復の見通し

事業概況



(Nutrition Solutions Unit)

**Supplement・Foodsともに堅調な業績を維持。大幅な増収増益
下期も好調を維持し、年間では大幅増益を計画**

Supplemental Nutrition

- 上期実績：還元型Q10米国向けに1Q集中出荷の反動あり、2Qに在庫調整
- 下期見通：グローバル市場での拡販進展 ⇒ 収益伸長の見込み

Foods & Agris

- 上期実績：高付加価値品へのシフト・スプレッド改善が進展 ⇒ 強い増益モメンタムを継続
B2C事業は、特徴ある高付加価値品の市場投入、販売拡大が進む
(ヨーグルト、果実グミ、有機乳製品など)
- 下期見通：高付加価値品へのシフト・新製品の拡販がさらに進展 ⇒ 好業績維持の見通し

セグメント別 売上高・営業利益 2Q実績 (対1Q比)

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2025年3月期		増減(対1Q比)		2025年3月期		増減(対1Q比)	
	1Q	2Q	金額	%	1Q	2Q	金額	%
Material SU	860	839	△ 22	△ 2.5%	84	77	△ 7	△ 8.3%
Quality of Life SU	451	484	33	7.3%	43	53	10	24.4%
Health Care SU	184	180	△ 4	△ 1.9%	30	25	△ 5	△ 18.1%
Nutrition SU	487	471	△ 15	△ 3.2%	39	25	△ 14	△ 34.8%
その他	2	2	△ 0	△ 13.0%	1	1	△ 0	△ 40.1%
調整額	-	-	-	-	△ 94	△ 92	1	-
計	1,984	1,976	△ 8	△ 0.4%	103	88	△ 15	△ 14.1%

※SU: Solutions Unit

営業利益差異要因

- Material : MOD・MS 強いモメンタム維持。Vinyls アジア市況下振れ
- QOL : E&I スマホ液晶TV向け販売増。Foam スプレッド改善、Fiber 需要底打ち
- Health Care : Pharma バイオ領域の一部出荷調整(4Qへ)
- Nutrition : Foods 酷暑影響。Supplement 1Q集中出荷の反動

貸借対照表

(単位:億円)

		2024年3月末	2024年9月末	増減
資産の部	流動資産	4,289	4,153	△ 136
	固定資産 等	4,413	4,422	9
	資産合計	8,702	8,575	△ 127
負債の部	有利子負債	1,748	1,849	101
	その他	2,210	1,977	△ 233
	負債合計	3,958	3,826	△ 132
純資産の部	自己資本	4,535	4,541	6
	非支配株主持分 他	209	209	△ 1
	純資産合計	4,744	4,749	5
負債、純資産 合計		8,702	8,575	△ 127
自己資本比率		52.1%	53.0%	
D/Eレシオ		0.39	0.41	
1株当たり純資産		7,068.91円	7,214.80円	

- 総資産 : 売上債権の減少などにより減少
- 負債 : 仕入債務の減少などにより減少
- 純資産 : 配当支払い・自己株式増の一方、利益剰余金増などにより増加
- 自己資本比率 : 53.0%

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	240	230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 306	△ 304
フリー・キャッシュ・フロー	△ 66	△ 74
財務活動によるキャッシュ・フロー	99	16
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	42	△ 52
現金及び現金同等物の期末残高	449	381

- 営業CF : 税金等調整前中間純利益や減価償却費などにより、230億円の収入
- 投資CF : 有形固定資産の取得などにより、304億円の支出
- 財務CF : 社債償還や自己株式取得による支出の一方、借入金増により16億円の収入

連結業績予想などの将来予測情報

◆ SU別の業績予想

- Material : MOD・MSの強い成長モメンタムが下期も継続
- QOL : E&Iのスマホを中心に販売は強いモメンタムが継続
- Health Care : Pharmaは4Qに大型新規案件の販売が集中の計画、
Medicalは新製品（バルーンカテーテルなど）の投入・拡販が進む
- Nutrition : Foodsの高付加価値品シフトが進展、好業績維持の見通し

◆ 全社： 地政学リスクなど不確実な経済情勢の中、カネカならではの差別化技術を拡大

ポートフォリオシフトを急ぐ ⇒ 現時点では、2024年5月14日公表の連結業績予想を据置

〈参考〉2025年3月期 連結業績予想（2024年5月14日公表）	2024年3月期 （実績）	2025年3月期 （予想）	（単位：億円） 増 減	
			金額	%
売上高	7,623	7,900	277	3.6%
営業利益	326	380	54	16.6%
経常利益	292	340	48	16.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	232	245	13	5.5%
営業利益率	4.3%	4.8%		
1株当たり当期純利益	357.90円	388.18円		
ROE（自己資本当期純利益率）	5.3%	5.4%		
為替・原料価格				
期中平均レート（米ドル）	144.6円	140.0円		
期中平均レート（ユーロ）	156.8円	155.0円		
国産ナフサ	69,225円	65,000円		

補足資料

トピックス -Green Planetの用途拡大-

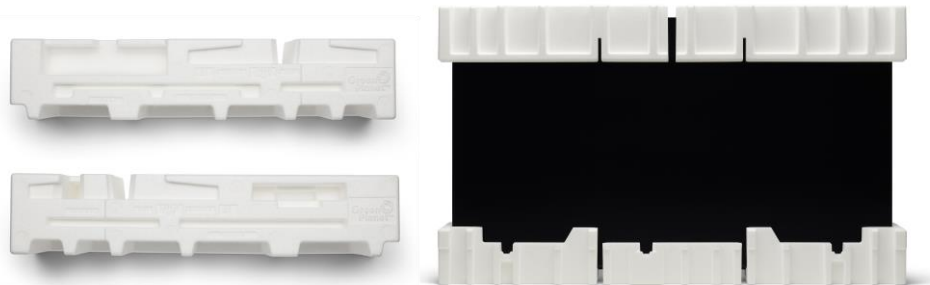
初のリユース可能容器を開発

JAL国際線機内食の食器として初採用



「Green Planet発泡成形品」を開発

- ソニー株式会社の大型テレビ用緩衝材で採用
- スズキ株式会社の船外機の梱包資材に採用

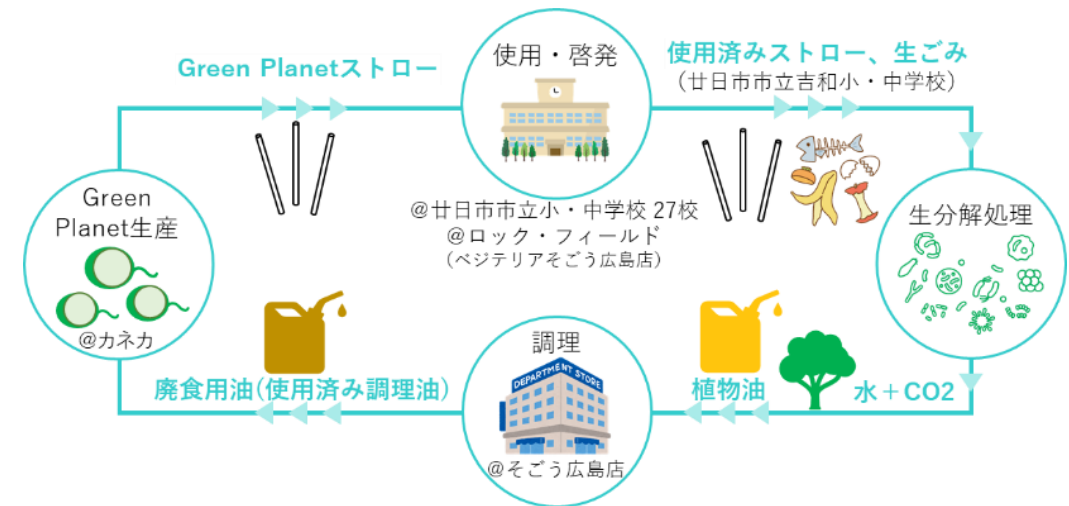


ソニーの大型テレビ用に採用された包装材と実際の装着イメージ

資源循環モデルの実証事業開始

「海洋プラスチック対策・リーディングプロジェクト支援補助金」に採択

- Green Planetストローを広島の小・中学校等で使用
- 西日本初の取り組みとなるオンサイト型コンポスト処理モデルを実証



事業イメージ

トピックス -Medical事業の拡大-

北海道に医療機器プラントを竣工

【概要】

投資額 : 約100億円
 生産製品 : 吸着型血液浄化器「レオカーナ」
 吸着型血漿浄化器「リポソーバー」
 治療対象 : ASO（閉塞性動脈硬化症）など
 竣工 : 2024年8月26日

【サステナブルなものづくり】

- IoTやAI、ロボットなどの先端技術を活用した「スマートファクトリー」としてラインの完全自動化を実現
- 当社太陽電池を用いて、工場建物の一次エネルギー消費量をゼロにする「ゼロエネルギーファクトリー」を実現する計画



新工場外観

北海道にカテーテル新プラントを新設決定

【概要】

投資額 : 約100億円
 生産製品 : 医療用カテーテル
 治療対象 : 心臓・末梢血管疾患および脳血管疾患
 消化管疾患、不整脈治療など
 生産能力 : 現状の約2倍
 稼働（予定）: 2027年3月



ロボットによる製品梱包の様子

トピックス -食と健康 BtoC商品の拡大-

わたしのチカラQ10ヨーグルト

- 「注意力」「情報処理能力」に着目
- 還元型コエンザイムQ10を100mg配合



- “肌のうるおいを保つ”機能を新規追加
- 還元型コエンザイムQ10を100mg配合



ナイトヴェール

- ホットヨガスタジオLAVAと共同開発
- “肌”と“睡眠”にダブルでアプローチする機能性表示食品



カネカQ10果実グミ

- 「肌のうるおいを保つ」「一時的なストレスの軽減」に役立つ
- 還元型コエンザイムQ10を100mg配合



トピックス -Supplement事業の拡大-

還元型コエンザイムQ10

- 11月5日に新製品発表会にあわせて「還元型コエンザイムQ10」事業戦略を開催
- 知花くららさんをゲストに“肌のうるおい”“ストレス”についてのトークセッションを実施



戦略
1

様々なニーズへの対応

機能拡大

疲労感
睡眠の質
ストレス

お口の
うるおい

注意力
情報
処理能力

お肌の
うるおい

???

機能性表示食品として

機能を拡大させて
変化するニーズに対応

戦略
2

技術革新

商品ラインナップの拡大



摂取シーンを広げ

体感できる素材で
トライアルする機会を作る

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

 **03-5574-8090**